

歯のびい通信

Happy Communication

春

2016 Spring 第21号

発行日/2016.Spring 第21号
発行/「歯のびい通信」編集チーム
発行人/古田 昭臣
編集/伊藤 有里
企画/日本活食株式会社 名古屋食品流通事業部 プリント・サブライ課 ミロ
※禁無断転載・複写

予防歯科が一番大切!!!

院長



医療法人社団日吉歯科診療所
理事長

熊谷 崇

去年、NHKプロフェッショナル「仕事の流儀」という番組で、**(信念の歯科医)熊谷崇先生**が紹介され、今年1月には民放「カンブリア宮殿」でも放映され話題になりました。

熊谷先生の予防に対する徹底した考え方は、まず、**むし歯、歯周病にならない環境を作ることが重要!!** 唾液、歯肉、口腔内写真等詳しくを調べ、生活習慣、面接など詳しく伺い、担当の歯科医師、衛生士と患者さんのお互いがお口の状態を知ることからスタートします。私たちスタッフも、度々先生の研修会に出席し、患者さんにその大切さを伝えています。

予防歯科の取り組みは
むし歯や歯周病のリスクをお互いに知ることが大切です



院長 古田昭臣

古田昭臣のコーナー

出血と歯周炎と全身疾患の関係

副院長

腹部に9×8cmの潰瘍があったとする。潰瘍面から出血していれば誰もが止血を試み、薬を塗りガーゼで覆うだろう。一方歯周ポケット内の潰瘍はどうだろう。すべての歯に深さ5mmの歯周ポケットがあると、潰瘍面積は9×8cm(手のひら大)といわれる。この大きな傷口は手当どころか24時間バイオフィーム(菌塊)に接する。バイオフィーム大便と同じ菌塊である。ポケット内の傷口は常に大便にさらされ、毎日の歯ブラシで大便に押し付けられている。その結果、**バイオフィーム細菌は潰瘍内の毛細血管を通じて全身に運ばれる。こうした菌血症こそが、歯周病によって引き起こされる全身疾患の原因**である。私達は歯周病治療によって潰瘍面を閉鎖せねばならない。



~日本アンチエイジング歯科学会天野敦雄(大阪大学教授):講演論文より引用~

2001年ギネスブックに
「全世界で最も蔓延している病気は歯周病である。」
と明記されました!



副院長 古田洋介

古田洋介のコーナー

ホームページご案内

スタッフのブログも日々更新中
是非ご覧ください!!

ホームページも新しくなりました。

<http://www.a-furuta-dental.com/>



❖患者さん紹介コーナー❖

たちばな かつや

～乗馬が趣味の橋勝也さん～



「26年前、歯医者選びに悩んでいた時紹介され、ブリッジや入れ歯になると思っていたら『インプラント』という初めて聞く治療法で治して以来、大きく歯を失ったことはありません。これからも乗馬を続けるためにも定期的にお口のケアに通い健康な歯を作っていきたいです。」とおっしゃって頂きました。

今は馬場馬術をしています

名前は「アンダンテ」
イタリア語で
「歩くような速さで」



スタッフ記



3/9 レストランザンビにて

加藤先生の慰労会をしました★

6年前から勤務させていただきましたがこの度、海外で別の活動をする事となりました。これからは海外と日本を行き来することになります。3ヶ月に1度は戻りますのでその際はまた皆さんの治療をさせていただきたいと思います。



快適な診療空間を目指して

毎月目標を決めてスタッフが見える場所に掲示してあります。

月末にはミーティングを行い、反省点を話し合っで見落としやすい細かい事に気を付けるよう努力しています。



今日(10月)の目標

7ヶ月の管理(長工課
お決まり交換) 感謝
受付の上担当者の笑顔
10/10 感謝の気持ちを伝える

↑準備コーナーに貼ってあります

【研修報告】

副院長:

第四回医療管理委員会に参加

前田・森・池田・塚原:

大阪S J C D 衛生士会オープンセミナー

塚原:

歯周病予防のためのジンジバルプラークコントロールセミナー

伊藤:

第二回ビジュアルマックス活用事例発表会

